染の小道 2013

まちを染め物で埋め尽くす

まち全体を染め物のギャラリーに見立てたイベントです。中井駅前の商店街と妙正寺川の川面を、色とりどりの染め物で彩ります。

地域の皆さんで落合・中井を「染のまち」として広く発信

【日程】2月22日㈮～24日㈰
【会場】西武新宿線・都営大江戸線中井駅周辺、妙正寺川の寺斉橋・大正橋付近
【時間・内容】▼川のギャラリー…妙正寺川の流れに沿って、江戸更紗や小紋染めなどの反物や、地域で「百人染め」をした反物を川の上に架け渡します（**写真**・各日午前10時～午後5時）。
▼道のギャラリー…中井駅周辺87店舗の店先を、染色作家や学生が制作した「のれん」で彩ります（各店舗の営業時間中）。
※23日㈯・24日㈰（午前11時～午後5時）は、落合第五小学校体育館（上落合3―1―6）で
22年度・23年度に出品された「のれん」を展示します。また、新宿区染色協議会が着物やパネルの展示、染色体験コーナーを開催します。
【共催】新宿区染色協議会・新宿区
【主催・問合せ】**「染の小道」実行委員会**☎090（6545）2013へ。ホームページ（HP）http://www.somenokomichi.com/）でもご案内しています。
※イベントのサポーター・スタッフも募集しています。お問い合わせください。

自助・共助・公助で防災対策 シリーズ 首都直下地震に備えて⑩

「公助」災害情報の収集と伝達

シリーズで地震への備えや区の震災対策をお知らせしています。

これまで「自助」「共助」の取り組みを中心に連載してきましたが、今回は、区の防災対策である「公助」の中でも重要な、災害情報の収集・伝達をお知らせします。

【問合せ】**危機管理課事業推進係**（本庁舎4階）☎（5273）3874・FAX（3209）4069へ。

災害情報収集の要は防災行政無線

災害時に区内の被害状況を迅速に把握し、的確に応急活動を行うことや、区民の皆さんに正確な災害情報を伝えることも重要な区の責務です。

このため、区では、大規模地震が発生した場合でも円滑に情報収集・伝達ができるよう、「防災行政無線システム」を整備しています。

区役所本庁舎・防災センター（市谷仲之町2―42）・特別出張所、避難所となる区立小・中学校等の区の施設、消防署・警察署・交通機関等に防災行政無線を配備し、災害時の情報収集・伝達体制を整備しています。また、区役所本庁舎・防災センター・特別出張所には、「災害情報支援システム端末」を設置しています。区役所本庁舎と防災センターでは地域の情報を集約して地図情報パネルに表示し、区内の被害状況を把握します（**写真上**）。

災害情報を迅速に伝えるために

一方、災害情報を区民の皆さんへ迅速に伝えるため、区立公園や区施設など区内102か所に防災スピーカーを設置（**写真左**）しているほか、区の施設や関係機関、町会・自治会に防災ラジオを配布し、きめ細かな情報伝達ができるようにしています。

防災スピーカーで放送した内容は、「災害情報内容電話確認サービス」☎（3205）1011（有料）で確認できます（24時間以内に放送した内容のみ）。詳しくは、危機管理課事業推進係へお問い合わせください。

ツイッターやメールでも情報提供

このほか災害発生時には、区公式ツイッター、防災気象情報メール（**左記**）のほか、区ホームページを災害用ページに切り替え、災害情報・避難情報などを提供します。さらに、NTTドコモは「エリアメール」、au（KDDI）・ソフトバンクは「緊急速報メール」として、区内にある携帯電話に区からの緊急情報を一斉配信します。

●防災気象情報メールの登録を

地震発生時の震度・震源のほか、台風や大雨などの気象警報・注意報等が発表された場合に、情報を携帯電話にメール配信しています。携帯電話から防災気象情報メールのホームページ（HP）http://www.bousai-mail.jp/snjk）をご覧の上、登録してください。

二次元コード

アートの力で快適な歩行空間に

新宿大ガード南側通路に「いのち」がテーマの壁画を設置

新宿西口の環境美化と安全・安心対策、アートを通した文化の発信を進めるため、一昨年の9月に続き、新宿大ガード下（南側通路・思い出横丁側）に高さ約1.5m、幅約12mの大きな壁画を設置しました。

「ママから生まれるいのち」がテーマのこの壁画は、昨年8月に新宿駅周辺地域で開催した「新宿クリエイターズ・フェスタ2012」で、アーティストと子どもたちが一緒に制作したもの。

壁画の左右には、福島県の子どもが描いた絵を繋ぎ合わせて制作した作品「キビタキ」（福島県の県鳥）も設置し、大ガード下通路はアートを楽しめる快適な空間となりました。

子どもたちの自由な発想と豊かな表現力で壁画が完成

【問合せ】**新宿クリエイターズ・フェスタ2012実行委員会事務局**（特命プロジェクト推進課内、本庁舎4階）☎（5273）4220へ。

ぶらり公園散歩⑩

みんなでつくる身近な公園 かば公園

身近な自然と触れ合い、地域のつながりを深める公園の魅力を、シリーズで紹介しています（11回予定）。今回は、12月に新しく生まれ変わった、かば公園（中落合2―16）です。

【問合せ】**みどり公園課公園管理係**（本庁舎7階）☎（5273）3914・FAX（3209）5595へ。

ワークショップで住む人とともに公園を再生

西武新宿線・下落合駅を出て西坂を上ると、かば公園の入り口でカバが出迎えてくれます。公園にカバの遊具があったことから、地域の方に「かば公園」と呼ばれるようになり、平成15年から正式な公園名になりました。

区では、公園を大規模に改修するとき、地域の皆さんのご意見を伺いながら公園の整備を進めています。新しくなったかば公園も、5回にわたって開催したワークショップで地域の皆さんと検討を重ね、「多様な年齢層が使える」「みどり豊かでくつろげる」「皆が気持ちよく使える」公園となるよう改修を進めました。

▲◀長く愛されてきた2匹のカバはお色直し（塗り替え）をしてよみがえりました

▶トンネルをくぐって遊べるカバも新たに設置

大人も子どもも居場所を見つけられる公園に

地域の皆さんからの要望で、小さなお子さんから使える遊具のほか、大人が健康維持・筋力向上のために使える健康遊具も設置しました。

また、春にはサクラ、初夏にはアジサイ、秋にはイチョウの黄葉など、四季折々の草木が楽しめる公園になりました。

健康遊具でストレッチや軽い筋力トレーニングも

シーソーやベンチを設けて親子で遊べる空間に

入り口から続くスロープには実寸大のカバの足跡

今号から「広報しんじゅく」の本文は、多くの方が読みやすいよう配慮された「ユニバーサルデザイン書体」を使っています。